

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第633号 2022年11月13日

## 鈴木真主任司祭 主日ミサ説教

2022年9月25日 年間第26主日 C年

ルカ福音書 16章 19-31節



今日の説教は、「子どもとともに、ささげるミサ」の代わりとして、子どもたちに向けてさせていただきます。

教会学校の皆さん、元気ですか？2学期が始まって、またみんなに会えてうれしいです。初聖体クラスの人たちが、11月の初聖体に向けて準備を進めています。初聖体クラスの皆さんと、そのご家族の上に、神さまの豊かな祝福があるように、皆さん祈ってくださいね。

さて、今日の福音…なんかちょっと感じ悪いですね。金持ちの人が、毎日、贅沢に遊び暮らして、自分の門の前にいる貧しい人に何もしてあげなかったら、死んでから大変なことになっちゃった…というたとえです。これは、いわゆる天国と地獄とは違います。天国と地獄…生きていいことをした人は天国に行けて、悪いことをした人は地獄に行っちゃう…そもそもそういうことは、実は、はっきりとは聖書には書かれていません。それどころか、神さまは、すべての命をこよなく愛してくださって、その命がこの世を去ったあとも、ずっとイエスさまを通してつながろうとしてくだ

さっている…それを聖書では「永遠の命」と言います。つまり、「命」とは、聖書では神さまとのつながり、結びつきを表すものなんですね。でも、そんな神さまのことを忘れてしまい、自分の楽しみだけを考えて生きていると取り返しのつかないことになっちゃう…聖書は、そう警告しているんです。

神さまは、わたしたち人間を、お互いに支え合って生きていくように造られました。そして、神さまがどれほどわたしたちを愛してくださっているかを思い出すとき、わたしたちもお互いに、大切にしようって思えますよね。だから、わたしたちが誰かと何かを分かち合おうとすることは、神さまにとってもいつも大きな喜びです。どんな小さなこと、物であろうと、独り占めするんじゃなくて、誰かと分け合おうとすることを神さまは喜んでくださいます。第一、食べ物にしても、何かの物にしても、独り占めしちゃうより、誰かと分け合った方がうれしいし、楽しいですよ。自分一人だけが幸せになるのは、ほんとうの幸せじゃありません。みんなが幸せになることを神さまは、いつも求めておられるんです。

わたしたちが、いつでも、そして、どんな小さなことや物でも、誰かと分かち合うことができるように、神さまと一緒に祈りましょう。